



PARTNERS

Free Paper

本誌の誌名『ぱーとなーず』は、組合員を意味する英単語“Partner”に由来しています。発刊10周年を機に、「組合員の皆さまの多様な事業・取り組みを発信し、地域経済の循環・活性化につなげたい」という想いを込めたロゴデザインに改めました。山梨県のシルエットに重ねた頭文字“P”は、「多様性」「循環」「活性化」を表現しています。



**私の
おし店**

当組合職員が紙面に登場し、自信もって推す店を紹介する『私の“おし店”』コーナーを新たに設けました。今回の“おし店”は、中央市にある味が評判の洋食屋「れんが亭」と、甲府市にあるリフレッシュできるお店「橘田燃料住設店」さんです。



しんくみの日

9月3日は「しんくみの日」です。私たち信用組合は、組合員の皆様によって作り上げられた組織であり、組合員の皆様のために業務を行っていくことを改めて確認する日です。

当組合では、ここ数年信用組合の本来の業務が十分にできるような不良債権の整理等の取り組みを行ってきたところであり、その成果として、お客様を支援した結果が組合の利益として反映できる体制となり、昨年度の決算においては6期ぶりに当期利益を黒字に転換することができました。これも組合員の皆様のご理解により成し得たものです。

コロナ禍や世界的な値上げにより中小企業の経営環境は厳しくなっており、私ども信用組合は、本業支援をはじめきめ細やかな支援を行っていくことが求められてきています。

私ども職員一同、自分の仕事に自信と誇りを持ち、やりがいと成長を感じながら、なお一層業務に励んでいます。



地域の皆様を応援します。 ～「しんくみの日週間」の取り組み～



毎年9月3日の「しんくみの日」を含む9月1日から7日の「しんくみの日週間」を中心に、全国の信用組合では、日ごろの感謝を込めて様々な取り組みを行っています。当組合では、皆様にお役に立てることはないかと考え、今年度、「しんくみの日週間」に合わせ、荏崎支店に荏崎消防署から講師を招いて、職員がAEDの使用や、心肺蘇生のための心臓マッサージの救命法を学ぶ講習会を実施しました。また、全店における清掃活動、献血者が減少している中での献血活動等、地域貢献のための様々な取り組みを行いました。



障がい者特別なものにならない会社

KEIPE(株)

甲府市、笛吹市に事業所のあるKEIPE(株)(赤池侑馬代表)は、2017年10月設立の病气や事故などで何らかの障がいを抱えて就労が困難になった方の就労を支援するサービスの提供をメインとする会社で、障がい者就労継続支援事業A型(障がい等のある方が、雇用契約を結んだ上で、一定の支援がある職場で働くことができる福祉サービス)を展開し、事業を通して地域の課題解決を図っていくことをコンセプトに取り組んでいます。



具体的には、働きたい障がいのある人(以下、メンバー)がKEIPEと雇用契約を結び社員となり、同社のスタッフのサポートを受けながら、事務所内で請け負った企業のWebデザインの作成やPCデータ入力業務、商品や部品の組み立て業務を行い、また企業の現場へ赴き倉庫内ピッキングの



このメンバーをサポートしながら行う業務は、リフォーム・空き家再生事業や農業の地域づくりの分野でも取り組みが進められており、農業生産法人へ出向して働く方も出てきています。

KEIPEでは、障がいがあるからといってその人のことを「特別扱い」せず、障がいを理由に無難で簡単な仕事ををお願いすることもなく、時には失敗する可能性のあるチャレンジングな環境も与えるとしていきます。これは、同社が掲げる「障がいを特別なものに見せず、誰もがそこに居ていい社会を目指す」というビジョンによるもので、病气

業務を行い、一般の企業で働けるようになると企業に出向き一般就労に近い形で仕事をを行い、一般の企業に採用されての社会復帰を目指します。

や苦手なことに力を貸しながらも一人の仲間人間として関わること大切にしています。

同社の赤池代表は、大学卒業後、千葉県の中学校の保健体育と家庭科の教師としてキャリアをスタートさせましたが自分の思い描いたものと異なったため1年で退職し、いくつものキャリアを積んだ後、いまだ見つからなかった人の才能に気づき、その人の可能性を信じて引き出していくという社会人としての「教育」を提供するKEIPE(株)を立ち上げました。

会社の名前のKEIPEは「ケイプ」と読み、「万物を成長させる、めぐみの風」を意味する「恵風(けいふう)」という言葉に由来し、赤池代表の思いが詰まっています。

同社では、就労支援事業以外にも、就労支援で培ったノウハウを活かし、児童発達支援・放課後等デイサービスを提供する「CLUM(クルム)中央ラボ」を運営しており、小中学校生の時から子どもを将来に向けた「働くよるこび」を感じてもらえるようなサポートや日常生活における必要なスキルが自然に身につくサポートなどを行っています。

また、同社では、心と体を整えるメンタルケア商品や情報を提供する「トノイ事業」を展開し、プロテインとGABAが配合された、体の中からストレス解消ができるスープなどの販売も行っております。6月にはおいしいスープを地域のみなさんに提供していきたいと、街のスーپر屋さん「MARLU SOUP」をオープンしました。

さらに、KEIPEは今後の新規事業のための人材育成や仕事体験のマッチングプラットフォームの設立など、様々な事業に取り組み、赤池代表の目指す社会に向かって進んでいます。



Check! 私の👍おし店



れんが亭

創業約40年、地元地域に愛され幅広い世代から人気の洋食店「れんが亭」。看板メニューである「れんがハンバーグ」は手ごねハンバーグの上に生ハム、チェダーチーズ、フライドオニオンがトッピングされたボリューム満点のメニューであり、一度食べたら虜になる感動の美味しさ。一品料理も充実しており、ソムリエの資格を持つ店主こだわりのワインも豊富に揃えているので、料理との組み合わせも楽しめます。是非、一度足を運んでみてください。

感動の美味しさです!

中央市成島1657-2
Tel. 055-278-5507
営業時間/11:00~15:00 (LO.14:00)
17:00~22:00 (LO.21:00)
定休日/木曜日



昭和支店 融資営業係
望月雄也主任



橘田燃料住設店



60年以上続くリフォーム店。3代目の橘田優子さんは、2級建築士の資格を持つ頼れる女性建築士。住宅リフォーム、新築、エクステリアなど幅広い業務を家族3人で請け負い、丁寧に仕上げています。また、橘田さんは、趣味であったフィットネスを昨年事業化。隣接するスタジオにてインストラクターを招き、「誰でも楽しく運動できるスタジオ」を目指してアットホームな雰囲気でも様々なレッスンを開講しています。住まいも身体もリフレッシュ。お気軽にご連絡してみてください。

住まいも身体もリフレッシュ

甲府市太田町30-11
Tel. 055-233-3361
営業時間/8:00~18:00
定休日/4-10月は土日祝・11-3月は日祝



青沼支店 融資営業係
野中美咲主査



ふるさと納税返礼品

ふるさと納税で企業も応援!

甲州市
10,000円



ワイントン
しゃぶしゃぶ肉

(株)ミンカワイントン

「その美味しさの秘密は、ワインを用いた育成にあり!!」ワイントンは、甲州市特産の豚で、飼料と一緒に、朝夕2回にワイントン専用として特別に開発した勝沼ワイナリー生産の白ワインを与えて飼育しました。ワイン効果により豚そのものが健康体になっただけでなく、柔らかくジューシーな食感、霜降りのように広がる上質な甘みのある脂身は、サラッとして旨みがたっぷりて極上の豚肉に仕上がっております。お肉の部位はモモ肉・肩肉・ロースもしくは肩ロースの3種類。ご家族4~6人で食べ比べができますので是非お楽しみください。

●甲州市勝沼町休息1625-3 ●TEL.0553-34-8429

市川三郷町
12,000円



ハンさんの
おいしいくわ茶
ピュアパウダー
スティック

(株)桑郷

桑郷の畑は「一の瀬桑」発祥の地、市川三郷町の標高500mの高地にあります。農薬不使用、心を込めて丁寧に桑の葉を育て、伝統的な日本茶製法にこだわり、自社一貫体制で生産しております。くわ茶は「飲むサラダ」と言われ栄養価が高く健康成分も多く含み、口当たりまろやかにサラリとお飲みいただけます。お水、お湯にとかして簡単に美味しい桑の葉茶をお召し上がりいただけるようパウダースティックでお届け。パウダーなので楽しみ方はアレンジ次第!ご飯に混ぜて「桑おにぎり」に!パスタに振りかけ「グリーンパスタ」に!パンやお菓みに混ぜたりと活用方法は無限大です。

●市川三郷町山保6319 ●TEL.055-230-3208

富士川町
36,000円



富士の介
丸ごと一本

(有)忍沢養殖場

「富士の介」はマス類で高級とされるキングサーモンと山梨県生産量No.1のニジマスを交配し開発され、山梨県でしか養殖されていない2019年デビューのオリジナル品種ブランド魚です。赤身が鮮やかで臭みのなさ、きめ細かい身質で滑らかな舌触りと、上品で旨味のある脂が特徴です。お料理のアレンジもしやすく食べやすいのでおすすめです。忍沢養殖場では「最大限の美味しさを保った状態でお召し上がりいただきたい!」そんな思いですべての過程にこだわりを持って生産しております。ご家庭で食べやすいように加工してお届けいたします。是非ご賞味ください。

●富士川町平林2714 ●TEL.0556-22-5155

富士吉田市
7,000円



キムチ屋ひろせの
やばい粉
味比べ3種セット

(有)広瀬商店

広瀬商店は富士山のふもとで昭和30年初頭から漬物業を営み、毎日新鮮な野菜を富士山の湧水で仕込み真心こめて手作りしております。そんなキムチ製造メーカーがこだわりぬいて作った万能調味料、本格アウトドアスパイス「やばい粉!!」。万能タイプ、ピリ辛スパイスタイプ、燻製スモークタイプをご用意しております。一振りすればアウトドア料理やキャンプ飯がランクアップ!お魚やお肉はもちろん炒め物揚げ物にもピッタリです。一味違うお酒のおつまみにも大変身します。アウトドアはもちろんご家庭でも活躍すること間違いなしです。

●富士吉田市旭5-12-17 ●TEL.0555-23-5214

山梨市
10,000円



美富士の
夢来レンジアップご飯
ミルクークイーン&ゆきむすび
ミルクークイーン玄米

赤池米穀店

山梨県富士吉田のミルクークイーンのパイオニアお米生産者「堀内治」氏と山梨県に4人しかいない五ツ星お米マイスターとのコラボから誕生した新ブランド米「美富士の夢来」(みふじのむら)。令和元年度産の米・食味分析鑑定コンクール国際大会において特別優秀賞を受賞しました。人気の低アミロース米なのでモチモチの食感と冷めても美味しいのが特徴。今、大人気!レンジや湯煎で温めるだけの簡単便利な「パックご飯」毎日手軽に腸活ができ、玄米の栄養を摂れる事からミルクークイーン玄米パックご飯が特に人気です!

●山梨市万力1179 ●TEL.0553-22-2201

北杜市
8,000円



ハケ岳ジビエ
鹿ソーセージ
(プレーン&ピリ辛)

(有)五味製作所

北杜の豊かな自然の中で育ったニホンジカのソーセージ2種セットです。鹿肉は低カロリーなのに高タンパク、さらに鉄分などのミネラルが大変豊富で、その栄養成分の高さと脂肪分の少なさから美容・健康食品として注目を浴びています。「ハケ岳ジビエ」では、肉の特徴を最大限に活かすよう、捕獲から2時間以内の鮮度を保つ処理を徹底し、旨味を引き出す熟成方法により、おいしさを最大限まで引き出します。また、命を無駄にしない仕組み作りとして、革小物もおすすめです!ハケ岳が育んだ「鹿」を食肉と革製品にして丹精込めて生産してお届けしております。

●北杜市明野町上手8292-2 ●TEL.090-2642-2929

ふるさと納税は、応援したい都道府県・市区町村に寄付することができます。過去の最高額となっており、2021年度の寄付総額は付額のうち2,000円を超える部分について、寄付した年度の所得税と翌年度の個人住民税から全額(一定の上限があります)が控除され、さらに寄付の返礼品として地域の特産品(寄付金額の3割以下の調達額のもの)を貰うことができます。

この返礼品には、カニなどの海産物や高級牛肉などが人気ですが、地域の企業の皆様が提供事業者となっている返礼品も数多くあります。ふるさと納税を通じて地域の企業も応援してみませんか。

(※お住いの地方公共団体に寄付しても返礼品を貰うことはできません。)

戦略マーケティング

「けんみん信組経営者クラブ」令和4年度第2回経営塾が開催され「戦略マーケティング」を通じて市場に商品浸透させる」と題して、番化戦略研究所 高田 裕代表の講演がありました。高田代表は、モノ余りの時代、ネット情報によるお客様優位な時代、コロナ禍の時代など厳しい経営環境の中で、企業は未来に向かってマーケティングがどう動くのか予測していかねばならず、そのためには自社を取り巻く外部環境が、将来にどのような影響を与えるのか把握予測するために「政治(P)」「経済(E)」「社会(S)」「技術(T)」の4つの外部環境を分析するPEST分析等が必要となる。その上でどんな小さなことでもよいから番化戦略を行うことが重要であり、番化戦略の基本は、自社の強み・専門性とターゲットとするお客様のニーズ・課題等との関係から競合他社が真似できない領域を作り、そこに集中することで売り上げ・利益を最大化するメニューであるということです。番化戦略がうまくいくためには自社の強みを明確化にし、ターゲットを絞り込んで、ターゲットの視線により、自社が選ばれる理由を考えることが大切だと強調します。

また、戦略立案にあたっては、セグメンテーション(年齢・性別・年収等)による市場の細分化、ターゲット(細分化した市場から狙う市場を決定)、ポジショニング(競合他社との位置関係を定める)のSTP分析を用いることにより、価格競争に陥らず、高額なものを売り込むことも可能だといっています。

さらに施策立案にあたっては、売り手側の視点の4P(商品・流通・価格・販売促進)と買い手側の視点の4C(顧客価値・利便性・コスト・コミュニケーション)の整合性に配慮していくことを求めています。

また、ターゲットのニーズや課題を把握する中で緊急性、重要性が高いものに焦点をあてることでビジネスになりやすいこと、良いアイデアを出すには成功事例を徹底的に真似ること、企業は小さくても良いから今までと違う売り上げを作る必要性があること、ライバルがない市場(ブルーオーシャン)を狙うのは浸透するまでに時間・手間がかかり中小企業では厳しいことから、既存のものを掛け合わせたもの(例:イチゴ大福、ハイボールを作ることを認知されやすいとの話がありました。



私たちの家づくりのコンセプトは、「家族の生命と財産を守るもの」を基本としており、地震等の災害・暑さ寒さ・風雨から家族の生命財産を守るために、どんな家づくりをすればいいのかを考えています。性能を上げて、価格を抑えて、モダンをベースにした様々な住宅建築が可能であり、「ご希望に沿った住宅をご提案いたします。家づくりの事、資金の事、土地の事、何でも相談ください。安心・安全で家計に優しい「家族の幸せ」を考え家づくりをおすすめします。

(株)ニューライフ総建 ～すまい工房～



昭和町西条5154
TEL.055-275-3165



タカラホームは快適性を追求した高性能デザイン住宅をご提案しております。ワンランク上の断熱性能・高い気密性・優れた換気設備の3つの性能を有効活用し、上質な室内環境を整えることにより何年先も家計に優しい住み心地のよい豊かな暮らしを叶えます。インシャルコストだけを向けて、生涯にわたりにかかる光熱費やメンテナンス費用もお話ししながら納得の住まいづくりのお手伝いをしております。是非お気軽にお問い合わせください。

(有)タカラホーム



甲斐市篠原 784-9
TEL.055-278-0672



弊社では、クリエイティブスタジオSAWとして、周辺の環境とも美しく調和し、その先にあるデザイン性を追求します。本質を見極め、感性を日々刺激する家づくりを定評があり、またいろいろな事業展開を計画し、家づくりを通して様々な可能性を見出し、独自のデザインと他社が真似できないような空間の演出は、その可能性の一つです。入手困難な木材、石材、左官工事を組み合わせ、色合いにも配慮し、お客様が求めるそれ以上のものを提供しております。お客様の生活がより良くなる、そんな価値ある家づくりを目指しています。

(株)創建舎



笛吹市石和町四日市場1819
石和ニュー銀座街2F 2-1
TEL.055-288-0421



当社は昭和21年に地元である富士川町で製材所としてスタートし、昭和58年より住宅建築を手掛ける工務店として地域の皆様にご愛顧いただき、営業界の中でもいち早く取り組み、その経験と実績をもとに、高品質でかつデザイン性の高い住宅を安心価格でご提供させていただいております。地元工務店だからできることは、人と同じではない「自分のこだわりの家」をお客様と一緒に造っていただくことだと思います。お客様一人ひとりに親身になってご対応させていただきます。

(株)ハウジング建都



昭和町西条130
昭和住宅公園内
TEL.055-230-8061



電話詐欺犯はいつも誰かを狙っています。

ある日の午後3時頃。当組合青沼支店においてATMコーナーから出金できないとの連絡があり、窓口係の鷹左右育子さんが向かったところ、高齢の女性がいました。職員が話を伺うと、出金できないのは高齢のためATMの出金限度額が10万円に設定されていることから、限度額を超える額を引き出すようとして出金できない状況でした。さらに話を聞くと、甥っ子から連絡があり、甥っ子が困っているのを緊急に100万円が必要で、当組合で足りない分は、他行に行つて出金するとのことでした。電話詐欺の可



能性を感じた鷹左右さんは、女性を店舗ロビーへ誘導し、南甲府警察署に臨場を要請し、駆けつけた警察官が甥っ子の携帯電話に連絡したところ電話詐欺であることが判明し、未然に防止ができたものです。高齢のお客様がATMを訪れたのは、甥っ子から固定電話に、甲府駅のトイレにカバンを置き忘れて携帯と財布を盗まれ、甲府駅の駅事務所から連絡しているが、今から取引先と重要な契約があり、契約のための現金が必要で、当組合で足りない分は、他行に行つて出金するとのことでした。電話詐欺の可

山梨県産材の利用 | (株)ありがとう・はやし建築

(株)ありがとう・はやし建築(林秀樹代表)は、北杜市須玉町を拠点に、山梨県産の木材を利用した新築や増改築・リフォーム、古民家再生を主とする地元の工務店です。現在、お客様の要望により県産材を使用した店舗の建築に取り掛かっている林代表に話を伺いました。



林代表は、出身地である長野県の設計事務所に入社し、店舗内装等の商業建築を中心とした設計に従事し、業務を行う中で、人工的な建材を使用することや遠く離れた外国産の材を使用する現在の建築様式に疑問を持ちはじめ、自然素材や地産地消を主とした建築を行う工務店として独立しました。

名前を聞くと思わず笑顔になる「ありがとう・はやし建築」の法人名には、「お客様や取引先、自然などさまざまなものへの感謝」や「日頃から「ありがとう」という言葉を忘れないように。」との思いが込められていて、今では取引先からは「ありがとうさん」と呼ばれ親しまれているそうです。

同社は、「一対一できちんと向き合う」を理念としており、お互いが納得いくまで話し合いを行います。建材についても茅葺屋根や土壁、ウッドシェイク屋根(木の瓦のようなもの)など自然素材のものを提案し、長所短所をご納得いただいた上で計画に盛り込んでいきます。そのためお客様の納得感や満足度は高く90%がリピーター、残りのほとんどがご紹介となっているそうです。



海外では日本の古民家を解体して輸入し現地で再建築したり、国内でも古民家の購入が増えたりするなど、古民家や木造建築への関心は高まりを見せています。

一方で、職人の高齢化や木材加工所、林業者の減少などにより環境は年々悪化しています。ありがとう・はやし建築では、古民家の再生や自然素材を使用したリノベーション、地産地消の建材調達を根付かせ、木材の伐出・加工・消費が地域で循環できること、北欧のような30年を一周期としたツリープランニングの定着など、本来の建築・林業の在り方戻し持続可能な地域社会を取り戻すことを目指しています。



【木造木質化
パートナー企業の証】

【PR用ののぼり旗】

本誌「ぱーとなーず」は、2012年7月に創刊され、現在まで、毎年約6回のペースで発行し、今般60号を発刊するに至りました。先般、お客様に行ったアンケートにおいて、当組合に希望する支援の内容として『ぱーとなーず』への企業情報の掲載が上位に挙げられるなど、本誌に対する期待が大きいが感じられ、また、実際に本誌に掲載されたことにより、仕事の発注があったと感謝の言葉をいただいております。発刊から10年の経過を機に、さらに多くの皆様に組合及びお客様の情報をお届けしたいと考え、お手に取りやすいA4サイズ、視認性の高いマット紙に変更し、リニューアルいたしました。今後ともご愛読をお願いいたします。

編集後記

